

## 加古川線（西脇市～谷川駅間）におけるご利用状況について

加古川線（西脇市～谷川駅間）は、厳しいご利用状況となっており、大量輸送という観点で鉄道の特性が十分に発揮できていないと考えております。これまで、地域の皆様と課題を共有させていただき、連携して、様々な利用促進策に取り組んでまいりました。

その中で、2024年7月16日の令和6年度第1回JR加古川線（西脇市～谷川間）維持・利用促進ワーキングチーム会議（以下、加古川線WT）において、以後に控えるアフターDC、加古川線全線開業100周年、大阪・関西万博という誘客機会を捉え、より一層の利用促進を実施すること等が関係者間で合意されました。

この度、大阪・関西万博閉幕時期までの加古川線（西脇市～谷川駅間）におけるご利用状況の一部を取りまとめましたため、お知らせいたします。

なお、より一層の利用促進に対する詳細な結果と評価につきましては、次回開催予定の加古川線WTにおいて、取りまとめのうえ、報告を予定しております。

### ※JR加古川線（西脇市～谷川間）維持・利用促進ワーキングチーム会議

- ・兵庫県内におけるJRローカル線を維持・活性化するため、利用促進施策について、関係市町、事業者、有識者等の意見を広く聴取する「JRローカル線維持・利用促進協議会」に基づく、JR加古川線（西脇市～谷川間）におけるワーキングチーム。
- ・沿線市長、兵庫県県民局長のほか、交通事業者、観光事業者、利用者の各代表者、JR西日本兵庫支社長が委員で構成される。

## 1. 平均通過人員（輸送密度）

2025年4月～10月の平均通過人員（輸送密度）は350人/日。より一層の利用促進前の2023年度と比べて+75人/日。

年度	1987	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025(4～10月)
加古川線 (西脇市～谷川)	1,131	321	215	207	237	275	293	350

※「平均通過人員」は、ご利用されるお客様の1日1kmあたりの人数を表し、以下の計算により算出しています。

【平均通過人員】 = 【各路線の年度内の旅客輸送人キロ】 ÷ 【当該路線の年度内営業キロ】 ÷ 【年度内営業日数】

※単位は「人/日」です。

## 2. 各駅乗車人員（加古川線 新西脇～久下村駅間）

2025年4月～10月の各駅乗車人員の合計は146人/日。より一層の利用促進前の2023年度と比べて、普通利用者は+10人/日に対し、定期券利用者は+41人/日と増加分の8割を占める。

駅名	1987年度			2019年度			2023年度			2024年度			2025年度(4月～10月)		
	普通	定期	計	普通	定期	計	普通	定期	計	普通	定期	計	普通	定期	計
新西脇	20	27	47	1	5	7	2	5	6	1	5	7	3	7	10
比延	17	46	63	2	12	13	1	6	7	1	7	8	2	10	12
日本へそ公園	11	5	16	3	5	8	6	3	10	8	3	11	12	6	18
黒田庄	42	113	155	3	29	32	2	18	21	3	23	26	3	43	46
本黒田	22	79	101	4	30	34	3	38	40	3	41	45	3	46	49
船町口	16	36	52	0	5	5	0	8	8	0	5	6	1	8	9
久下村	16	46	62	1	5	6	1	2	3	1	2	3	1	1	2
合計	144	352	496	14	91	105	15	80	95	17	86	106	25	121	146

※単位は「人/日(年度平均)」です。

※端数処理の関係で合計値は一致しません。

## 3. より一層の利用促進の主な取り組み

### ・加古川線（西脇市～谷川駅間）増発実証実験

(1) 実施概要：加古川線（西脇市～谷川駅間）で2往復4本の臨時増発を実施

(2) 実施期間：2025年4月13日～10月13日

(3) 実施結果：増発列車の平均乗車人数 10.5人/本（平均乗車率6.3%）

※定員125系(1両)：114人

103系(2両)：278人

### ・谷川駅特急こうのとり臨時停車実証実験

(1) 実施概要：加古川線と谷川駅で接続する特急こうのとりの臨時停車を実施

(2) 実施期間：①2024年7月1日～2025年2月28日

②2025年4月13日～10月13日（増発と併せて実施）

(3) 実施結果：①平均乗換者数 0.3人/本

②平均乗換者数 0.6人/本

※谷川駅に臨時停車した特急こうのとりと加古川線を乗り換えた人数